

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年4月3日 (2014.4.3)

【公表番号】特表2013-519500(P2013-519500A)

【公表日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-027

【出願番号】特願2012-552414(P2012-552414)

【国際特許分類】

B 0 1 J 19/18 (2006.01)

B 0 1 J 19/10 (2006.01)

B 0 1 J 19/12 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 19/18

B 0 1 J 19/10

B 0 1 J 19/12 C

B 0 1 J 19/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月12日 (2014.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体媒質において生物学的変換若しくは化学的変換又は物理的捕捉若しくは化学的捕捉を実施する装置であって、

少なくとも 1 つの流体媒質入口、少なくとも 1 つの流体媒質出口、及び前記変換又は前記捕捉が実施される少なくとも 1 つの閉込部を有する、流れ分配器と、

装置を回転、揺動、揺振、又は振動させる手段とを備えた、装置。

【請求項 2】

前記流れ分配器の前記閉込部が、流れによって分配された少なくとも 1 つの物質が化学的変換するのを可能にさせる 1 つ又は複数の固体部材を収容している、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記固体部材が前記閉込部内に配置された 1 つ又は複数のカートリッジに設けられている、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記カートリッジが交換可能とされている、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記流れ分配器が 1 つ又は複数の中央流体媒質入口を有する、請求項 1 から請求項 4 までのいずれか 一項 に記載の装置。

【請求項 6】

前記流れ分配器が 1 つ又は複数の周辺流体媒質出口を有する、請求項 1 から請求項 4 までのいずれか 一項 に記載の装置。

【請求項 7】

閉込部が、流体媒質が前記流体出口へと分岐する前に前記閉込部を通過するように配置

された、請求項 1 から請求項 6 までのいずれか一項に記載の装置。

【請求項 8】

前記流れ分配器は、断面が実質的に円形であって、複数の扇形部が設けられており、各扇形部は中央に配置された前記流体媒質入口と定められた周辺流体媒質出口とに接続している、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記扇形部は、前記扇形部に導入される少なくとも 1 つの物質を生物学的若しくは化学的に変換、又は捕捉することができる同一の又は異なる固体部材が設けられている、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記装置を回転、揺動、揺振、又は振動させる前記手段が、外部作動装置に機械的に連結された軸である、請求項 1 に記載の装置。